

# ふくおかトライアルワーキングステイ 2015 筑後市編 アーティスト版 募集要項

(筑後地域の伝統工芸を素材に制作・発表を行うアーティスト・イン・レジデンス)

## 1. プログラム概要

福岡県南部の筑後エリアは平野、川、山、海を持ち、農産物海産物が豊富であり、九州の交通要所としても、アジアを中心とする海外交流の拠点としても、古代から常に重要な交流拠点として栄えてきた地域です。岩戸山古墳を始めとする多くの古墳群や、近代以降の様々な文芸、工芸、芸能、美術などの才能と作品に恵まれています。

平成 25 年 4 月、筑後市に開館した九州芸文館。地域の魅力を発信することで、筑後地域の振興や発展に寄与・活用されることを目的として整備されたこの施設では、平成 27 年度、国内外の芸術家が訪れ、そこへ住民が集まり、作り、見聞きし、語りあう芸術文化交流拠点となることを目的とするアートプロジェクト、「筑後アート往来 2015」が実施されます。

本プログラムでは、この「筑後アート往来 2015」に参加し、『「筑後ならではの素材」を用いたアート作品を制作・発表する』という仕事をしながら筑後市での生活を送ることにより、活動拠点・制作拠点としての筑後市を体感してもらうことを目的としています。

また、これらの活動の実施を通じ、芸術・文化を中心とした交流が日常に溢れるまちを目指すことで、それらが地域住民や移住を検討する人たちにとっての新たなまちの魅力となることを目指しています。

## 2. 対象者

筑後市を活動拠点とし、筑後地域の地域資源である「久留米絊」をテーマとして作品を制作し、九州芸文館で展示・発表することに興味のあるアーティスト(ジャンルは不問)

福岡県内を活動の拠点とすることに興味がある方

## 3. 体験期間

2015 年 10 月 15 日(木)～12 月 25 日(金)(展示・発表期間を含む。)

## 4. 募集定員

1 組(個人、団体)

※ご家族や制作アシスタント等との参加を希望する場合は申込書にご記入ください。

## 5. プログラムの内容

### (1)活動内容について

- ①居住体験施設「筑恋邸」での、筑後地域の地域資源「久留米絊」をテーマとした作品の制作
- ②九州芸文館での作品の展示・発表
- ③市民との交流プログラム(例:アーティスト・トーク、ワークショップ等)の企画・実施

(筑後アート往来 2015 では、上記期間に別に海外から1名のアーティストを招聘し、筑後市での滞在制作を行っていただく予定です。作品の展示・発表や住民との交流プログラム等においては、主催者との調整を行ったうえで、海外アーティストと同時期に行っていただく予定としております。)

- ④ブログによる制作過程や地域情報の発信(最低でも、週に2回以上の更新を義務とします。)  
(ブログシステムは主催者が準備します。パソコンはご持参ください。)

⑤体験期間中のスケジュール

原則として、以下のスケジュールに沿って活動を行っていただきます。

10月15日(木) 筑恋邸への入居

11月28日(土)~12月1日(火) 九州芸文館への作品の搬入

12月2日(水)~24日(木) 制作発表・展示

12月24日(木) 17:00~ 制作物の撤収

**(2)居住、生活について**

- ①市が所有する居住体験施設「筑恋邸」<sup>ちくれんてい</sup>に居住します。なお、本プログラムの別メニューの参加者1組との共同生活となります。(定期借家契約を締結していただきます。)
- ②交通手段として市から自転車を貸与します。
- ③期間中、生活に必要な最低限の家具(食卓等)・家電(冷蔵庫・洗濯機・炊飯器・電子レンジ)等は貸与します。

**(3)主催者が体験者に助成するもの**

- ①引越し費用補助: 上限 3 万円
- ②作品制作費: 上限 25 万円
- ③情報発信業務委託料: 12 万 6 千円

**(4)体験者が負担するもの**

- ①家賃: 無料
- ②水道光熱費: 無料
- ③インターネット利用料: 無料(パソコンはご用意ください)
- ④賃貸契約における保証金: 20,000 円(期間終了後に返金)

**(5)滞在中のサポート体制**

- ①人的サポート: 生活・滞在面においての最低限のサポート及び制作面においての最低限のサポート  
(材料購入及び運搬等の補助等)を筑後市が実施  
作品制作サポートに関するアドバイスを九州芸文館が実施する。
- ②制作のためのスペース: 筑恋邸
- ③制作発表会場: 九州芸文館

- ④市民交流プログラム実施場所:プログラム内容を鑑み、協議により決定するものとする
- ⑤プログラムに関する告知・広報等:アーティスト自身によるHP(ブログ、SNS含む)の他、福岡県、筑後市、九州芸文館により実施
- ⑥市民交流プログラム・制作発表に関するサポート:福岡県、筑後市、九州芸文館

## **(6)その他**

- ①本プログラムにおけるアーティストの作品及び活動状況の一部を写真及びビデオで記録し、地域及び九州芸文館の広報や情報発信等に活用させていただきます。
- ②本プログラムで制作された作品の著作権は全てアーティストに帰属しますが、主催者が記録した写真や映像等の著作権及び広報宣伝のためにそれらを使用する権利は、主催者に帰属するものとします。
- ③滞在中の健康保険及び傷害保険はプログラム参加者自身で加入してください。主催者は保険加入等に責務を負わないものとします。
- ④活動のための移動手段として筑後市より自転車を貸与しますが、それ以外の移動手段を必要とする場合はプログラム参加者自身で確保してください。

## **6. 応募条件**

下記すべてに当てはまる方とします。

- ①福岡県外に居住している方で、福岡県への移住に関心がある方
- ②芸術分野で活躍しているアーティストである方(ジャンルは不問。団体での応募可)
- ③筑後地域の地域資源である「久留米絰」をテーマとした創作活動を行える方(例:絰を素材として使用する。糸や染料などの材料を使用する。工程、機材、デザイン等にまつわるテーマで作品制作を行う。絰をテーマに他の材料と組み合わせた作品を作る、等。)

※石や鉄を素材として使用するなど、作品制作に特殊な環境が必要となる場合、対応いたしかねますのでご了承ください。なお、アーティスト自身で必要な環境を準備できる場合はこの限りではありません。

- ④滞在期間中の生活と制作に関するすべてを独力で行うことができる方
- ⑤制作の成果を作品として発表し、展示作業及び撤去まで責任を持って行うことができる方
- ⑥滞在期間中、関係者や地域住民と良好な関係をもって交流ができる方
- ⑦滞在期間中、市民との交流を企画し、実施できる方
- ⑧健康が良好である方
- ⑨日本語での意思の疎通が可能な方
- ⑩体験期間を通じ、主催者が指定する住宅に滞在することができる方

## **7. 応募方法**

- ①参加申込書:福岡県移住・定住ポータルサイト「福がお〜かぐらし」よりダウンロードしてください。 <http://ijuu-teijuu.pref.fukuoka.lg.jp/>

②募集締切：平成 27 年 8 月 18 日（火）（17:00 必着）

③申込方法：参加申込書及び以下添付資料をメールにて送信してください。

※添付資料

1) 申込人の身分証明書のコピー

2) 自己PR資料（代表作を中心とするポートフォリオ、アーティストステートメント等。A4用紙2枚程度。PDFファイル。）

3) 作品提案書（A3用紙1枚以内。作品タイトル及び制作に関するコンセプトを明記すること。PDFファイル。）

メールに添付するファイルの容量は合計で3MB 以下とすること。

（紙媒体での提出を希望する場合は、筑後市役所企画財政課定住促進担当へ郵送。8 月 18 日 17:00 必着。なお、提出された資料等は返却いたしません。）

④申込先：筑後市役所 総務部 企画財政課 定住促進担当

（郵送）〒833-8601 福岡県筑後市大字山ノ井 898

（メール）chikugo@fukuokatws.jp

## 8. 選考方法

①1 次選考：書類選考／2 次選考：面接選考（遠方の場合は Skype 等に対応します。）

②選考結果通知方法：メール、web への結果掲載

③選考委員 ・選考委員長 筑後市長 中村 征一

・ゲスト委員九州大学大学院 人文科学研究院教授 後小路 雅弘

・宮本 初音（インディペンデントキュレーター・ART BASE 88 代表）

・九州芸文館館長 津留 誠一

・市内の紺工房 代表者

④選考スケジュール

8 月 18 日（火）：募集締め切り

8 月 30 日（日）：1 次選考（書類選考）結果通知

9 月 1 日（火）：2 次選考（面接選考）

9 月 2 日（水）：2 次選考（面接選考）結果通知

⑤お問合せ先：筑後市役所 総務部 企画財政課 定住促進担当 TEL：0942-53-4245

⑥2 次選考（面接選考）について：9 月 1 日の 18 時～20 時ごろを予定しております。応募される方はスケジュールの確保をお願い致します。会場は筑後市内を予定しておりますが、遠方の方は Skype 等に対応いたします。

⑦選考基準：公表いたしません。

## 9. その他注意事項

①期間中又は事業終了後にアンケートやインタビュー調査等への協力をお願いいたします。

②テレビ局、雑誌等の取材もお願いさせていただく場合がございます。

取材は強制ではございませんが、制作に支障のない範囲でご協力をお願いします。

③寝具・リネン・タオル・消耗品等をご持参ください。（最小限の家具・家電は用意いたしております。）

④滞在物件及び家具・備品等を汚損、破損、紛失した場合は、実費にてご請求させていただきます。

⑤滞在物件へのペットの連れ込みは禁止となっております。

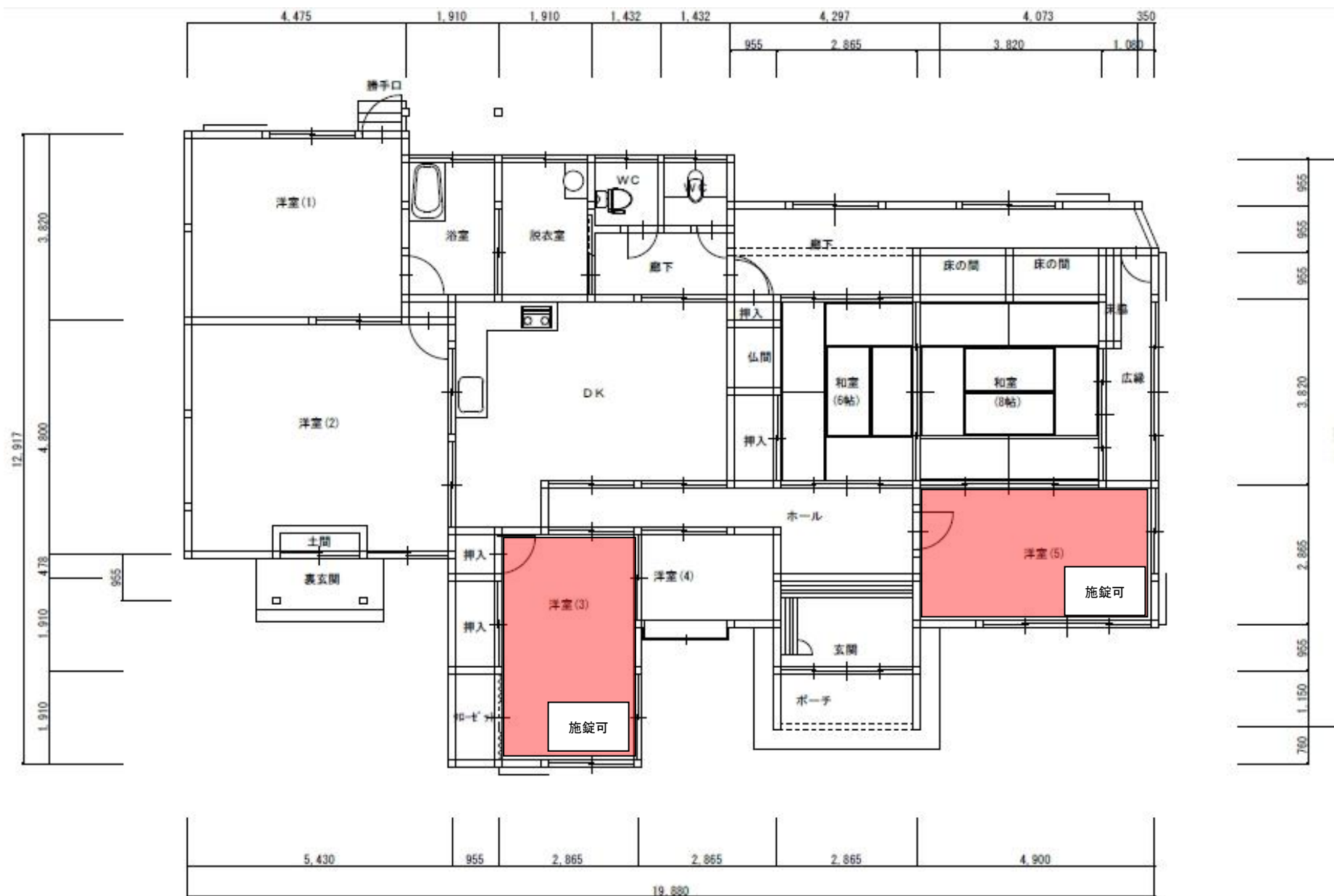
⑥申込内容に事実と相違することが判明した場合、契約を解除する場合があります。

⑦滞在中での辞退はできません。事業内容をご理解の上ご応募ください。

## 10. 居住兼制作のためのスペース(ちくご暮らし体験施設 筑恋邸)について

基本的に、「洋室(1)」と「洋室(2)」を制作のためのスペースとしますが、制作物の内容・形態等の如何により相談に応じることとします。なお、天井高は2.5mです。また、居住に当たっては「ふくおかトライアルワーキングステイ

2015 筑後市編 アートマネージャー研修版」の参加者との共同生活となります。施錠可能な洋室(3)と洋室(5)をそれぞれに割り当てますが、その他のスペースは共有で使用していただきます。

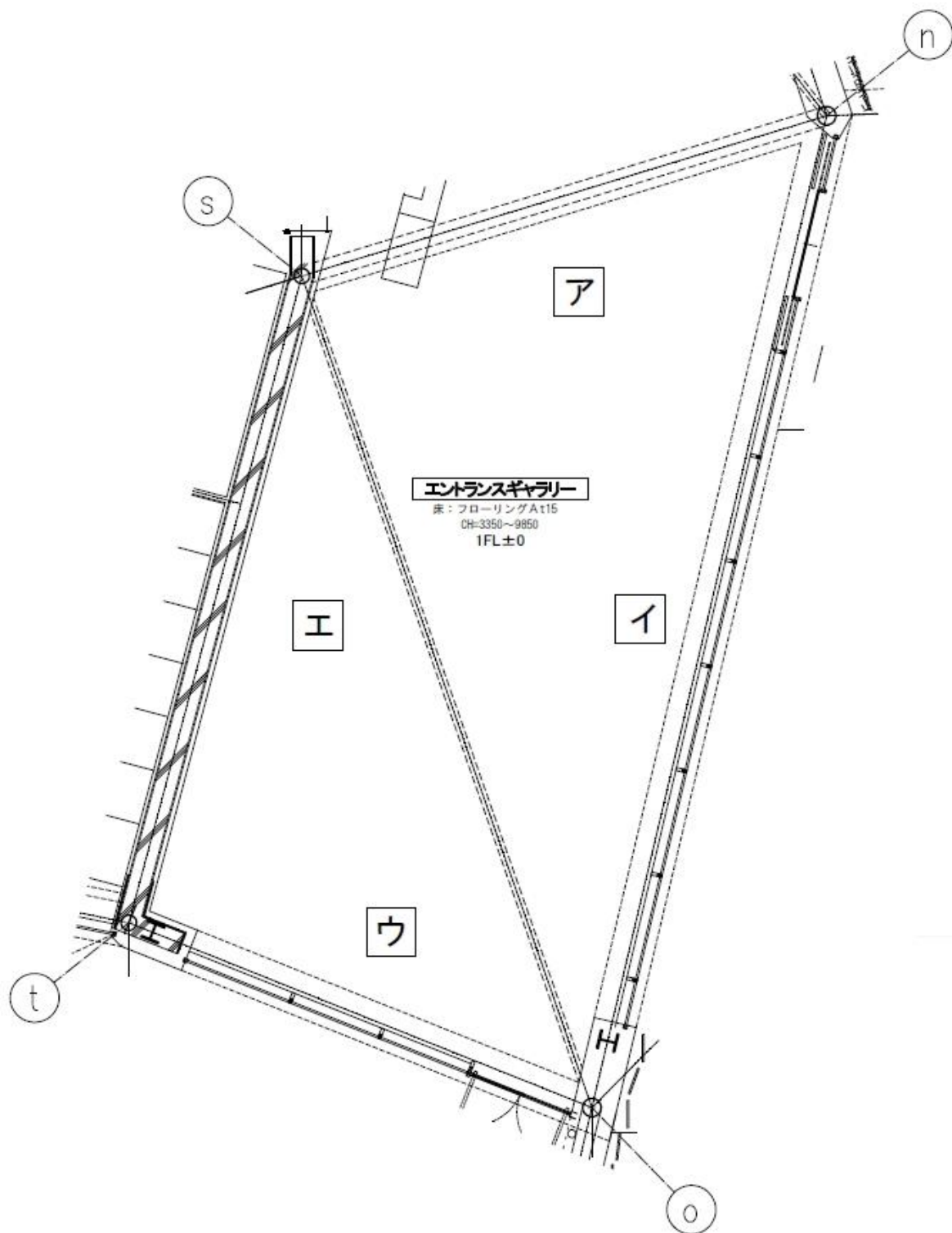


## 11. 作品の展示・発表のためのスペースについて

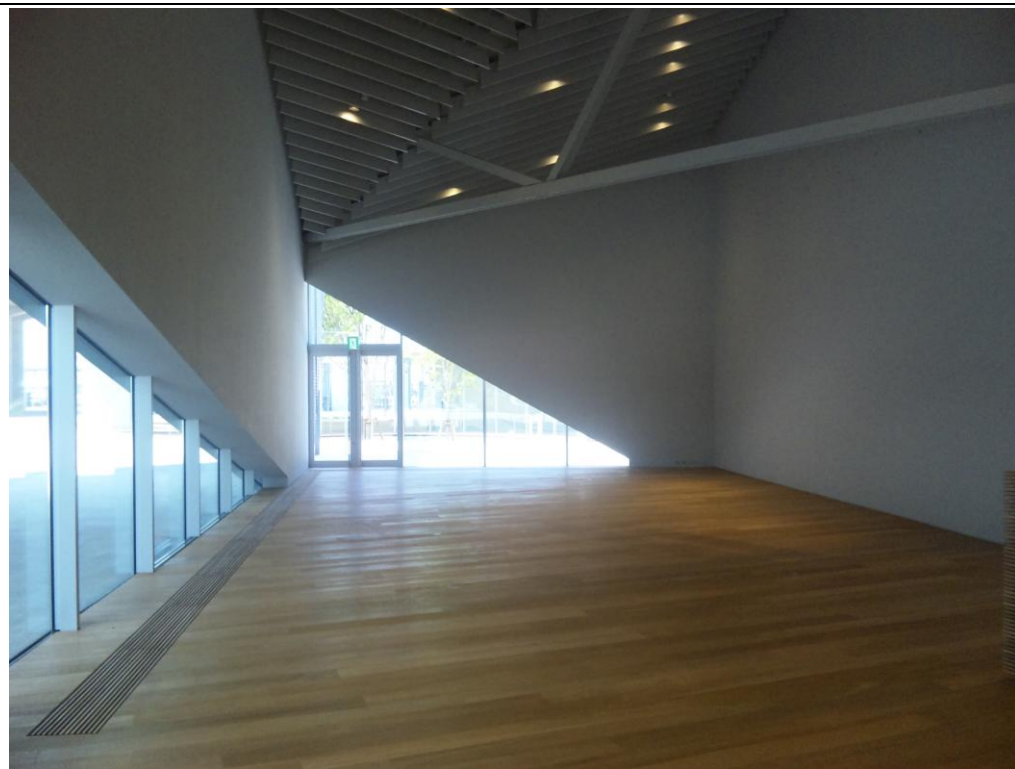
展示・発表を行うスペースは、九州芸文館の「エントランスギャラリー」「教室工房1」「教室工房2」の三箇所を予定しています。作品の形態やコンセプトに応じ、主催者との協議の上、展示・発表スペースの決定を行います。

滞在期間中、展示・発表スペースにおいては各種催しを実施されていることが想定されます（展示・発表のための期間を除く）。展示・発表スペースの確認は、催しの妨げにならない範囲で現地にて行うほかは、原則として当資料により行うものとします。

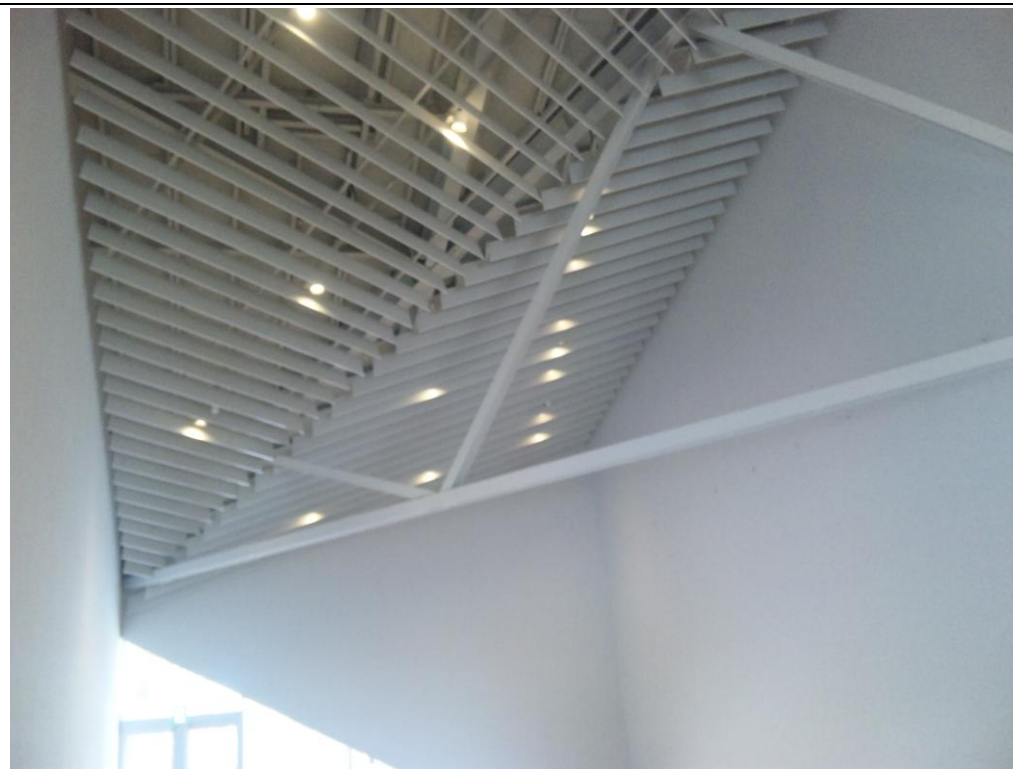
### 【エントランスギャラリー】



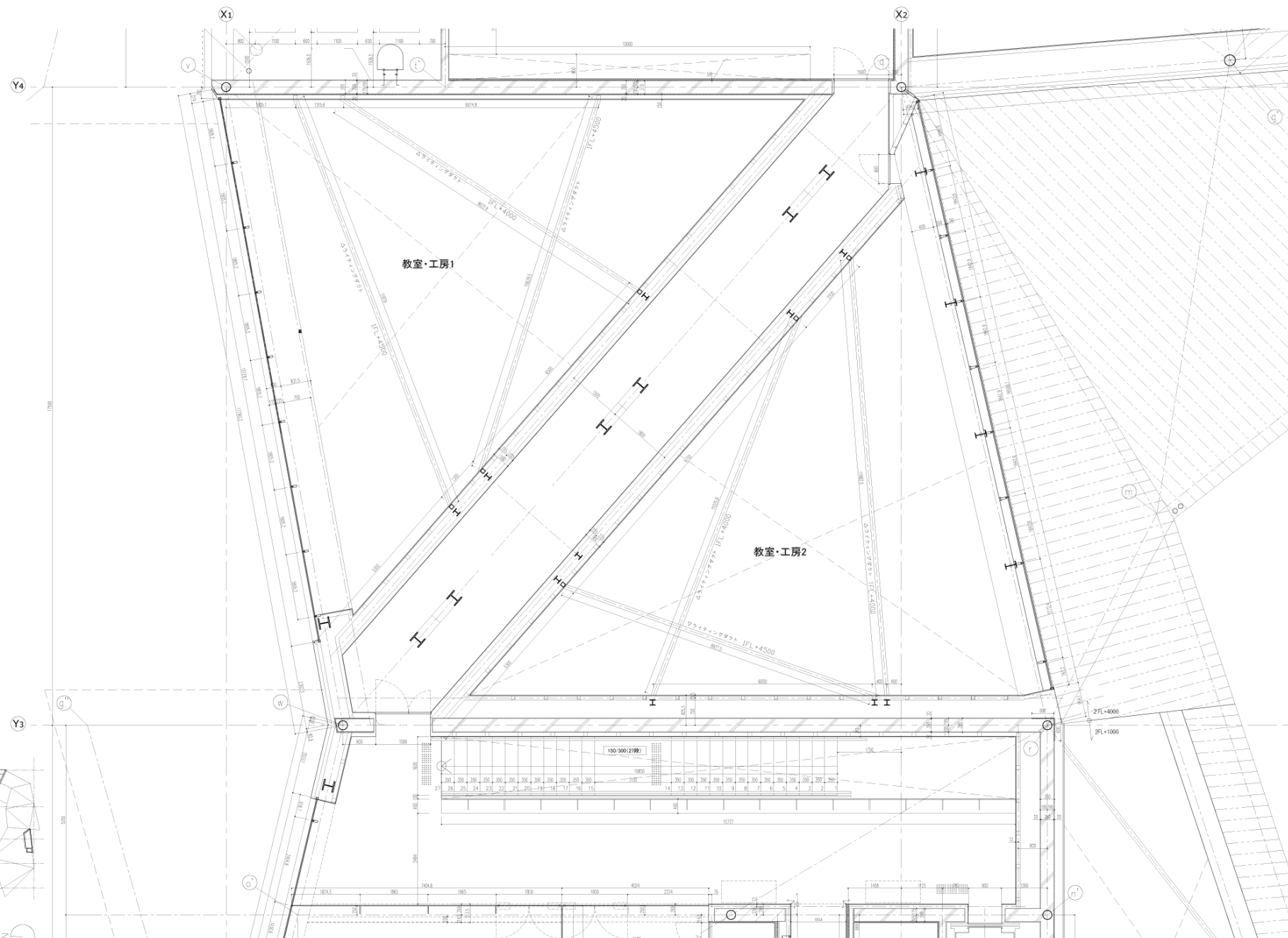


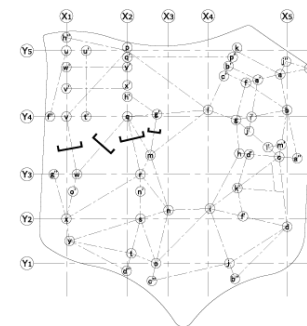
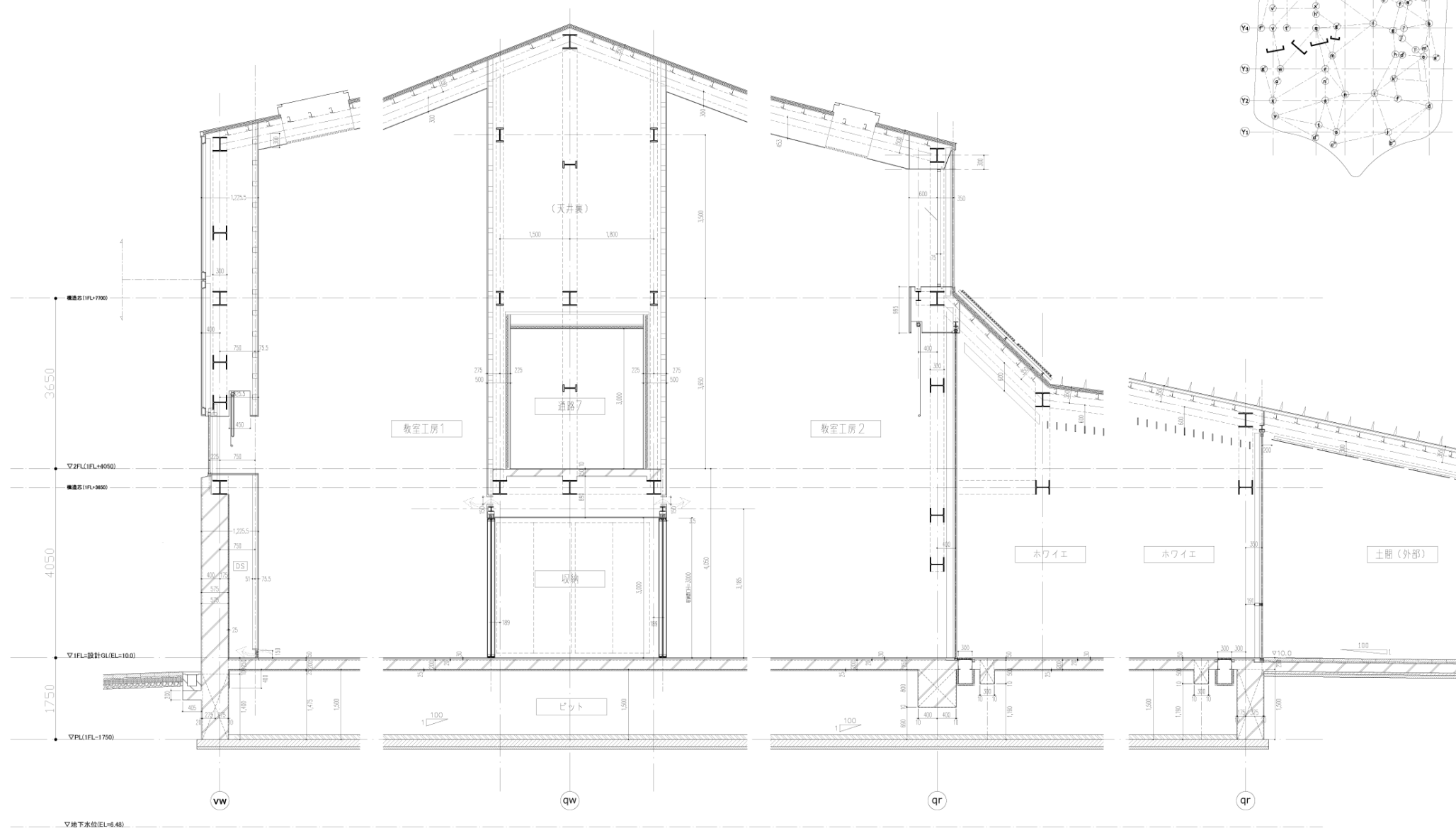


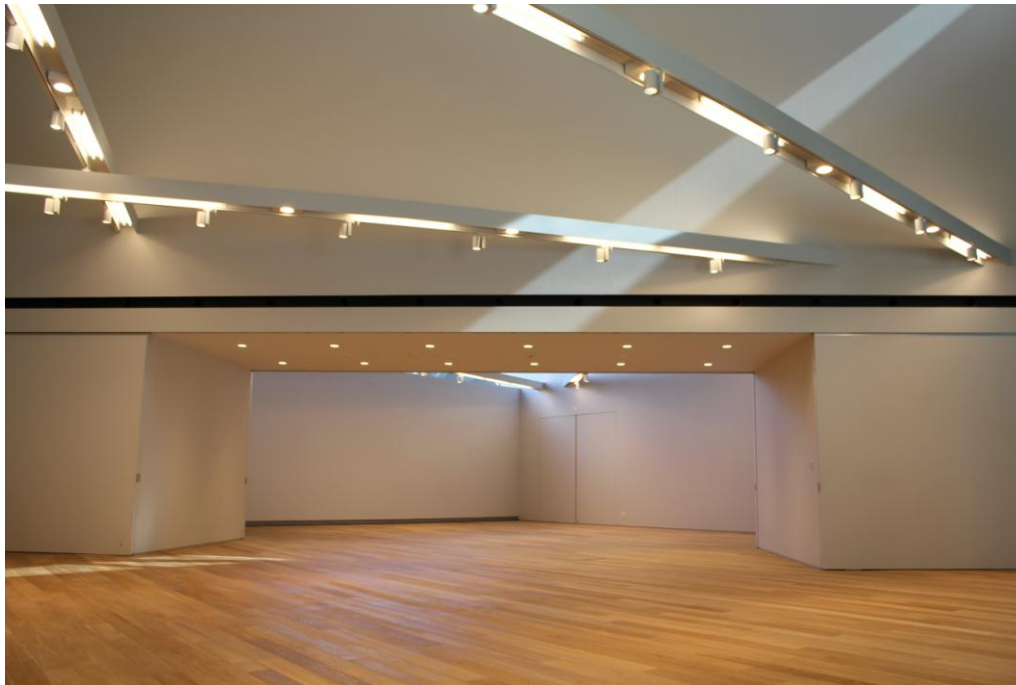
エントランスギャラリー(図面アからウ方向へ)



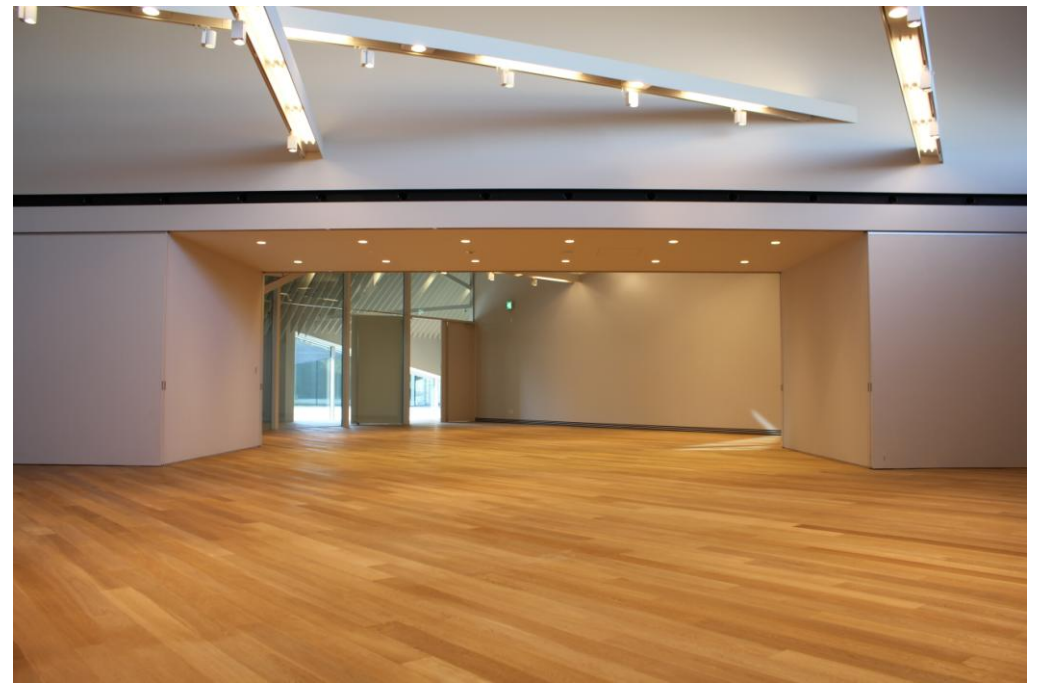
エントランスギャラリー天井(図面アからウ方向へ)







教室工房2から教室工房1に向かって



教室工房1から教室工房2に向かって

■主催:福岡県、筑後市、筑後広域公園芸術文化交流施設 九州芸文館  
企画(業務委託):ART BASE 88(宮本初音)、株式会社DMX  
レジデンス協力:WATAGATA 福岡釜山アートネットワーク

■当レジデンスを含め、筑後アート往来 2015 にて予定されているプログラム

1. プレイベント「筑後アート往来 円卓会議 2015」

【日時:7月31日(金) 13時-17時】

筑後エリアのアート拠点運営者、アーティスト、歴史、工芸系など文化芸術関係者による円卓会議を行います。九州芸文館が文化芸術交流拠点として活用されるための希望やアイデアについて語ります。

2. アーティストインレジデンス

【滞在期間:10月-12月 展示期間:12月2日-12月24日】

海外および国内からアーティストを1名ずつ招聘します。(国内アーティストの招聘は「ふくおかトライアルワーキングステイ」として実施します。)

筑後ならではの素材を使い、筑後市での滞在制作を実施するほか、滞在中に地域住民、周辺小中学校、福祉施設等との交流イベントを実施します。

3. 五組の若手アーティスト展

【展示期間:1月13日-2月11日】

県内外のアーティストによるグループ展を実施します。筑後ならではの素材をテーマとして制作した作品の展示を、九州芸文館で行います。また、期間中に地域住民、周辺小中学校、福祉施設との交流イベントを行います。

※2. 以外の上記日程については、諸事情により変更される可能性があります。

【筑後市担当者からのメッセージ】

2013 年度から実施している筑後市でのアーティスト・イン・レジデンスプログラム。「ちくご移住計画 2013」「ちくご移住計画 2014」と2 年間実施してきたこのプログラムが、平成 27 年度、アートプロジェクト「筑後アート往来 2015」と名を変え実施されます。2013 年に開館した九州芸文館が、このプロジェクトを通じ、人や文化、芸術の交流拠点として大きく動き出そうとしています。

今回の「ふくおかトライアルワーキングステイ」では、この「筑後アート往来 2015」で展示・発表する作品の制作に、仕事として取り組んでいただきます。

制作・活動の拠点としての九州芸文館、筑後市を体感していただき、プログラム終了後もたびたび訪れていただけるような、そして、ゆくゆくは拠点として居を構えてもらえるような魅力的なまちになれるよう、福岡県、筑後市、九州芸文館が協力してアートプロジェクトに取り組めます。

多くのご応募をお待ちしております。